

訪日外国人が多く予想される、ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピック2020東京大会の競技会場については、災害発生時の情報提供・避難誘導手段の確保が必要。

このため、高速無線LANやデジタルサイネージ等のICTを利活用したモデル事業を実施する。特に、競技場で無線LAN経由によって提供するモバイル向けサービスを活用し、（車椅子の方（観客、大会関係者いずれも）向けのガイド機能について実証を行う（「避難誘導におけるアクセシビリティ確保」のモデルを構築））。

【H29補正予算(案):2億円】

【デジタルサイネージ活用イメージ】



サイネージにより、多言語による災害情報、避難経路情報の提供が可能

【無線LANカバーエリアイメージ】



(無線LAN経由の配信コンテンツの例)

- ・災害発生時の情報提供、避難経路
- ・車椅子の方向けアクセシビリティマップ
- ・駐車場情報
- ・売店情報/キャッシュレス購入

